



2020年9月15日

各位

投資信託新商品の取扱い開始について

八十二証券（代表取締役社長 舟見英夫）では、2020年9月15日から、投資信託「UBS 米国成長株式リスク・コントロール・ファンド」および「パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド（愛称：未来インフラ）」の新規取扱いを開始いたします。

以下のとおり概要をお知らせします。

1. 取扱店舗 全店
2. 販売開始日 2020年9月15日
3. 商品内容①

ファンド名	UBS 米国成長株式リスク・コントロール・ファンド
委託会社	UBS アセット・マネジメント株式会社
主な特徴	1. 高い収益性、成長性が期待される米国株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指す。 2. 独自のリスク・コントロール戦略により、株式および為替に対する投資リスクの低減を図る。
販売チャネル	店頭(対面)及びオンライントレード
申込金額単位	口数指定の場合・・・1万口以上1万口単位 金額指定の場合・・・1万円以上1円単位
決算日	毎年2月14日（休業日の場合は翌営業日）
お申込み手数料	1,000万円未満 : 3.30%（税込） 1,000万円以上1億円未満 : 2.20%（税込） 1億円以上 : 1.10%（税込） ※オンライントレードでは、お申込み手数料を課税前で対面扱いより0.5%差し引きます。

商品内容②

ファンド名	パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド (愛称：未来インフラ)
委託会社	パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
主な特徴	<p>1. パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の取引所に上場されている（これに準ずるものを含む。）テクノロジー・インフラ*に関連する REIT および株式を主要投資対象とし、中長期的に信託財産の成長を目指す。</p> <p>※テクノロジー・インフラとは、データセンター、通信タワー、e コマース関連施設、テクノロジー関連施設等を指す。</p> <p>2. マザーファンドの運用にあたっては、センタースクエア・インベストメント・マネジメント・エルエルシーに運用に関する権限の一部を委託する。</p> <p>3. 実質組入れの外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行わない。</p> <p>4. 年1回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行う。なお、将来の分配金が保証されているものではなく、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともある。</p>
販売チャネル	店頭(対面)及びオンライントレード
申込金額単位	口数指定の場合・・・1万口以上1万口単位 金額指定の場合・・・1万円以上1円単位
決算日	毎年12月15日（休業日の場合は翌営業日）
お申込み手数料	<p>1,000万円未満 : 3.30% (税込)</p> <p>1,000万円以上1億円未満 : 2.20% (税込)</p> <p>1億円以上 : 1.10% (税込)</p> <p>※オンライントレードでは、お申込み手数料を課税前で対面扱いより0.5%差し引きます。</p>

以上

<p>本件に関するお問い合わせ先 商品企画部 小岩井・武藤 電話 0268-22-5599</p>
